

2007 年度

科目名 倫理学概論 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 林 進
授業テーマ ヨーロッパ倫理思想概観		
授業の概要と目標 ヨーロッパ近代を中心に倫理思想を概観する。とくにカントに代表される近代の道徳論と、その近代の道徳価値に対して批判の刃を向けたニーチェの反道徳論を両輪にして、デカルトの心身二元論やヘーゲルの人倫思想を説明し、国家と個人、自由と必然、の問題を考察する。		
評価方法 レポート提出。出席重視		
テキスト プリント配布	著者	出版社
参考書 授業の中で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 倫理学とは何か 2. 古代ギリシアの倫理学（1）ソクラテス以前とソクラテス 3. 古代ギリシアの倫理学（2）プラトンとアリストテレス 4. ヘレニズムと帝政ローマの倫理 5. 中世キリスト教倫理——教父哲学とスコラ哲学 6. 近代科学の成立（1）——ベーコンとロック 7. 近代科学の成立（2）——デカルトとパスカル 8. 自由と必然（1）——スピノザとカントとニーチェの説 9. 自由と必然（2）——バーリンの自由論「～からの自由」と「～への自由」 10. カントの道徳論（1）——認識論 11. カントの道徳論（2）——善意志 12. カントの道徳論（3）——定言命法 13. ヘーゲルの人倫（1）——弁証法 14. ヘーゲルの人倫（2）——国家と自由の実現 15. レポート提出		